

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況(腸管病原菌含)

検出菌 ウイルス	2019年												2020年														
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月 ~7日	6月 ~14日	6月 ~21日	6月 ~28日	7月 ~5日	7月 ~12日	7月 ~19日	7月 ~26日	8月 ~2日	8月 ~9日
カンピロバクター	56	46	78	65	87	128	102	107	157	62	49	91	42	46	55	54	92	37	49	43	48	62	91	60	28	54 (55)	27
病原性大腸菌	85	81	77	69	51	59	51	37	85	46	41	39	22	34	39	30	24	13	19	18	13	13	11	14	22	10 (11)	21
腸管出血性大腸菌	0	0	0	0	0	0	0	1	3	3	0	0	1	0	0	0	1	0	2	1	1	0	0	0	0	1	0
サルモネラ	5	3	11	6	3	11	5	12	18	9	13	13	4	1	2	4	10	1	2	2	2	1	3	2	8	11	3
黄色ブドウ球菌 MSSA	10	9	12	13	14	24	11	17	15	8	10	26	6	20	11	3	9	2	5	4	4	3	4	2	6	4	2
黄色ブドウ球菌 MRSA	22	16	22	14	11	12	18	12	15	10	10	10	10	11	17	8	14	3	3	5	3	4	0	6	1	0 (1)	6
腸炎ヒブリオ	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	1	0	0	3	1	2	4	1	1	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
ロタウイルス	2	3	2	9	4	5	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	0	0	1	0	1	3	2	1	0	1	0	1	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ノロウイルス	23	23	11	11	2	5	0	1	1	0	6	19	10	14	6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0

* ()は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和2年第32週(8月3日~8月9日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市	
一類	0	発生なし	0								
二類	7	結核	7		4	1		1	1		
三類	0	発生なし	0								
四類	6	日本紅斑熱	5			4			1		
		レジオネラ症	1				1				
五類全数	6	カルバペネム耐性腸内細菌	1						1		
		クロイツフェルト・ヤコブ病	1				1				
		後天性免疫不全症候群	1								1
		侵襲性肺炎球菌感染症	2			1		1			
		バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1	1							
指定	51	新型コロナウイルス感染症	51	6	0	2	2	31	2	8	

注) 西部…大竹市, 廿日市市, 府中町, 海田町, 熊野町, 坂町, 安芸高田市, 安芸太田町, 北広島市, 江田島市
西部東…竹原市, 東広島市, 大崎上島町
東部…三原市, 尾道市, 世羅町, 府中市, 神石高原町
北部…三次市, 庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

新型コロナウイルス感染症

広島市では、7月9日から連続33日間感染の報告が続いており、家庭内感染も報告されています。感染していても、軽症のため気づかないまま、家族にうつしてしまうことがあります。また、お盆休みに入ると、会話や飲食の機会が多くなることも考えられますので、3密を避けると共に以下のことに注意しましょう。

- 【家庭内感染を防ぐために】
- ・こまめに手を洗う
 - ・定期的に換気をする
 - ・共用部分を消毒する
 - ・会話をする場合はマスクを着用する(特に高齢者との会話)
 - ・食事は大皿ではなく小皿に分ける
- 発熱や咳、倦怠感や味覚・嗅覚障害などの症状がある場合は、マスクを着用し、食事や寝る部屋を家族と別にして、早めにかかりつけ医またはコールセンター(☎082-241-4566)に連絡しましょう。
- 【帰省や旅行をする際は】
- ・3密となる行動を避けましょう。
 - ・移動先の自治体が出す感染拡大状況など最新情報を確認しましょう。
 - ・自身の健康管理に留意し、発熱や咳、倦怠感や味覚・嗅覚障害などの症状がある場合は、移動を控えましょう。

* 新型コロナウイルス感染症に関する最新の発生状況、相談窓口等については、広島市ホームページ「新型コロナウイルス感染症に関する情報(<https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/korona/>)」からご確認ください。

■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平過去5年間(注)	発生記号
小児科	インフルエンザ	-	-	0.17		小児科 眼科 基幹	流行性耳下腺炎	1	0.04	0.51	
	咽頭結核熱	6	0.26	0.52	↓		RSウイルス感染症	-	-	-	1.18
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	9	0.39	1.41	↗		急性出血性結膜炎	-	-	-	0.05
	感染性胃腸炎	77	3.35	3.35	↔		流行性角結膜炎	1	0.13	0.76	
	水痘	1	0.04	0.38			細菌性髄膜炎	-	-	-	
	手足口病	2	0.09	3.02			無菌性髄膜炎	-	-	0.11	
	伝染性紅斑	-	-	0.26			マイコプラズマ肺炎	-	-	0.14	
	突発性発しん	14	0.61	0.43			クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	ヘルパンギーナ	1	0.04	1.11			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	

急増減 ↑ ↓ 前週と比較しておおむね 1:2以上の増減

増減 ↗ ↘ 前週と比較しておおむね 1:1.5~2の増減

微増減 ↔ 前週と比較しておおむね 1:1.1~1.5の増減

横ばい ⇄ ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	36
小児科定点数	23
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■ 全数把握感染症報告状況(新型コロナウイルス感染症を除く)

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	1	83	男性(60歳代)
5	侵襲性肺炎球菌感染症	1	12	女性(10歳未満)

■ 新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
その他の疾患	発熱(39.6°C) 咽頭炎	1	男	2020/06/26	咽頭拭い液	ライウイルス

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載